

部活動で輝く3年生の笑顔

他の中学校は4,5ページに掲載しています。

Ha
ga
いはぐ
11 2020.8 vol.11



竜ヶ丘
中学校
ryukyo



緑ヶ丘
中学校
midorigaoka



特集 コロナの経験をこれからの学びに

～新しい学びへ挑戦～

コロナの苦しい状況だからこそ、子どもたちとどうつながり、学習をどう保障するかについて、学校や家庭、地域が皆で悩み考えました。様々な取組みから、新しい気づきや学びが生まれています。“withコロナ”的経験は、これからより良い教育環境づくりにも、生かされていくでしょう。



学校での取組み ～つながりと学びのために～

4月 伊賀良小学校 ～学校の願いを職員室から～

全員揃っての職員会議ができないため、遠隔通信アプリ「Zoom」による職員会議を行いました。接続、画像・音声状態ともに良好で、円滑に行われたのも、日頃から活発に活動している「体育研究部会」を中心に、前日準備を十分に行ったからだろうと、中心となった教員は語ります。非常にこそ、創造性や人間性が深められる側面もありますが、平常時における取組みと、それに基づく人間関係があつてこそです。



5月 緑ヶ丘中学校 ～誹謗中傷の記事から考える道徳の授業～

分散登校中に緑ヶ丘中学校が全校あげて取り組んだ道徳の授業の題材は、「新型コロナウイルスと私たち」。飯田市でのデマの広がりとその被害を報じた、全国紙の一面記事を用いた授業では、さまざまな情報が出回る中で、デマやうわさで悲しむ人を出さないためにはどうすればよいか、生徒が考えを深め、意見を交換しました。「コロナの感染の危険性がある中、さまざまな思いを抱えて混乱してしまうけれど、そういう中でも同じことを二度と起こさないためにはどうしていけばいいのかを、大人も子どもも考えていかないといけないなあと、君たちとの道徳を通して感じました。」ある教員の学級通信コメントです。子どもと共に学ぶ、飯田市の先生たちの確かな姿が、ここにもあります。



6月 飯田西中学校 ～生徒会オンライン総会～

学校再開後の6月上旬、遠隔通信アプリ「Google Meet」を用いたオンライン生徒会総会が行われました。全生徒が体育館に集まるのが困難な状況にも何とか開催されたのは、学校生活を豊かにするための話し合いの場であり、“民主主義”を体験を通じて学ぶ重要な機会でもある生徒会を、何とか開催したいとの生徒と先生の想いによるものであり、「やれない理由を探すのではなく、やれる方法を探す・つくる」熱意が実施を後押ししました。



みんなが支える教育環境

「いのちの給食」の再開! (矢高共同調理場)

「昼夜の食事づくりがストレスでした。毎日の給食がありますが、お母さんたちの声が聞こえてきます。市内学校の約半分、4,000食を毎日作る矢高共同調理場の4名の栄養士と27名の調理員は、休校期間中は給食を届けられないもどかしさがありました。再開後は、「配りやすい」「食べやすい」「片づけやすい」一方、おいしさも損なわないよう心を配ります。



配膳・喫食・返却の方法も大きく変わり、食器等の洗浄に今まで以上に時間がかかるようになりました。一年で最も暑いこの時期にも、「先が見えない不安や熱中症、食中毒と戦いながら、『おいしかった。全部食べました!』の子どもの声を励みにしながら、毎日給食を届けられる喜びを噛みしめています。」と、美味しい食事を届けてくださっています。

地域社会とのつながりによる取組み

～コミュニティスクール(学校運営協議会)への期待～

臨時休校や臨時登校中に、2つの小学校区で行われた家庭・地域と連携した取組みを紹介します。

和田小学校区

ICT教育支援「アマビエプロジェクト」始動!

地域と保護者の協力のもと、オンライン学習による授業「アマビエプロジェクト」が、スタートしました。PTAは、全家庭の通信環境調査やZOOM接続研修会を実施。学校運営協議会では子どもたちの様子や課題を共有。まちづくり委員会は、飯田ケーブルテレビの技術支援も受けながら全家庭の通信環境整備を進めました。また、地域の方々による“パソコン環境整備応援隊”的支えも受け、オンライン授業が展開。一人ひとりの子どものために何ができるのか。それぞれの立場で当事者意識をもって考えた今回の経験は、地域の連帯感を強め、学校運営協議会も今まで以上に大きな一步を踏み出すことができました。目下の第2波・

第3波への備えはもちろん、将来も見据え、地域の願いである児童数増加に向けて今できることは何か、取り組みは続けます。



図書館においてよ! (飯田市立図書館)

全国的に多くの図書館が閉館する中、休校中の子どもたちが少しでも本を読む機会を持ってほしいとの想いもあり、飯田市では、感染対策を取りつつ図書の貸出を継続しました。「図書館が休みにならなくて良かった」との声も多く、親子連れの姿も多く見られました。図書館の貸出サービスがライフラインの一部であると改めて認識されます。

三穂公民館・図書分館では、ゲームや動画に夢中になりがちな子どもの様子を心配する声を受け、希望する園児7人と小学生15人の各家庭に「本に触れて元気になってほしい」との想いを託し、合計86冊の本を届けました。

※コミュニティスクールとは
各学校区において、「学校」「家庭」「地域」が学校運営協議会を開催し、めざす
子ども像に向かってそれぞれが目標を定め、協働して子どもを育む仕組みです。

下久堅小学校区

緊急対応は日頃の信頼関係から!

臨時登校が始まった4月末、児童の見守りについての協力を学校が公民館へ依頼。館長はじめ6人の地域の方々が引き受けました。1年生から6年生まで26名の児童が、公民館で昼食や宿題、図書分館で読書、グラウンドで運動などをして過ごしました。外で遊ぶ機会が減ったためストレスを抱える児童が多い中、子どもは生き生きと遊んでいました。

学校からの要請を、地域の方々が即座に引き受けたのも、「放課後こども教室」など、日頃からの学校と地域との信頼関係があるからです。今回の経験は、コミュニティスクールがめざす子ども像に向かって、地域全体で取り組む機会であり、これまでの取り組みの見直しや新たな課題に対して知恵を出し合うチャンスと捉えています。







コロナの経験から 私たちが学んだこと ～歌声をひびかせたい～

私は、コロナウイルスが終息したら、クラスのみんなと一緒に遊んだり、勉強したりしたいです。それから、私は合唱団に入っていますが、いまみんなで歌うことができません。早く合唱団のみんなと練習をしたいです。そして、前のように浜井場小学校を歌声でひびかせたいです。

浜井場小学校●5年 山路 結花さん

飯田市 ALT
Presents

「飯田ケーブルテレビ（地デジ 11ch/CVTV713ch）」にて放送中！ **Iida English Time ! (いいだイングリッシュタイム)**

WITH コロナ ~つながりと学びのための5分間~

ALBEE先生 「できるかな？」
WILLIAM先生 「家族でbingo」
MIREK先生 「ヒントで当てよう出身地」
JOE先生 「○△□～いろいろな形～」
KSHAN先生 「エムズ先生弾けるの？」
KIMJI先生 「ハロウィンはいつ？」
EMMUS先生 「新しいスポーツ!?」
NICOLE先生 「カエル食べるの？」
AMILIA先生 「今の気分は？」
NILKA先生 「ミステリースムージー」

Enjoy watching us and learning English together!
一緒に楽しく学びましょう！

放送時間 (月)～(金)17:50～ (土)・(日)7:25～/11:30～/17:55～

※ALT(外国語指導助手)とは 本物の英語を通して様々な文化やコミュニケーションの楽しさを伝えてくれる先生です。

心の結びつきと仲間との絆を大切にしながら

保護者のみなさまには、この一学期は大変にお世話になりました。特に休校中は、お子様をご自宅で見守っていただいたり、宿題や家庭学習のサポートをいただいたり、本当にありがとうございました。5月25日から学校が再開ましたが、子どもたちは元気に登校し、授業の遅れも順調に取り戻しつつあります。引き続き、一人ひとりのペースに寄り添いながら、心の結びつきを大切にして学校の活動を進めていきます。

また、今後の“いつくるか分からない”感染の拡大に対しても、子どもたちの学習が止まらないように備えていきたいと思います。11月までには飯田市の全児童生徒約8,000名に一人一台のタブレット端末を貸与し、ICT（情報通信技術）を活用して家庭でも学習ができる環境を整えていく予定です。詳しい内容については、改めて保護者のみなさまにお知らせしますが、今後ともご理解とご協力のほどよろしくお願ひ申し上げます。

コロナの影響で、目標にしていた大会が無くなってしまっても、最後まで部活動の練習に打ち込む中学生の姿は立派でした。先行きの見通せない時代であっても、一度しかない人生において、自分の可能性を信じ仲間との絆を大切にしながら、変化への扉を開いて欲しいと思っています。学校と家庭そして地域、みんなで力を合わせて、コロナに負けないたくましい子どもたちをハグ(Hagu)くんでいきませんか。



飯田市教育長
代田 昭久

コロナウイルスの影響で、休校や外出自粛になって、普段なら当たり前にできることのありがたみを感じるようになりました。学校に行って友達と会ったり、どこかへ出掛けに行ったり、部活をしたり、といいつまでも当たり前にできることも何か一つあるだけで、こんなにも変わってしまうんだ、と思いました。ニュースを見ていて、数日前までは日本の新規感染者数が減少していたのに、また増え始めて「第二波が来ている」と聞きました。感染者数を減少させるために制限を続けると経済が停滞してしまうけれど、制限を緩和させると感染者数が増大してしまうので、なかなか難しいんだなと思いました。部活が3ヶ月間できなかったのは悲しいけれど、7月までできるからあと2ヶ月がんばろう、とか、落ち込んでしまうことがあってもなるべくポジティブに考えて、今この暗いニュースばかりの時期でもせめて気分だけは明るく過ごしていきたいと思っています。

竜東中学校●3年 小林 史果さん

毎日の生活に『わが家の結いタイム』を プラスしてみませんか？

「あいさつ」を **プラス**

朝は「おはよう」、学校や仕事に出かける時に「行ってきます」「いってらっしゃい」のあいさつを交わすことで気持ちのいい一日のスタートをることができます。自分からあいさつすることを心がけてみましょう。

「お手伝い」を **プラス**

お手伝いを頼むことや、一緒に家事をすることでコミュニケーションも増えます。「ありがとう」「助かったよ」の感謝の気持ちを伝えことで、やる気もアップしますね。

「読書」を **プラス**

その日の出来事、部活動や習い事のこと、お休みの日に家族でどんなことをしたいのかなど、毎日の食事の時間や入浴の時間、送り迎えの車の中で、聞いたり話したりして一日を締めくくれるといいですね。

飯田市立図書館からのおすすめ本

小学校低学年向け

『はじめてのキャンプ』

はじめてのキャンプ 林明子／作・絵、福音館書店

小学校中学年向け

『ものぐさトミー』

ものぐさトミー ペン・デュボア／文・絵、松岡享子／訳、岩波書店

小学校高学年向け

『アームストロング 宇宙飛ぶネズミの大冒険』

アームストロング 宇宙飛ぶネズミの大冒険 トーベン・クールマン／作、金原瑞人／訳、ブロンズ新社

中学生向け

『はじまりの日』

はじまりの日 forever young ポブ・ディラン／作、ポール・ロジャース／絵、アーサー・ビナード／訳、岩崎書店

『ノー宿題+スイッチOFFデー』～わが家の結いタイム 千代小学校の取組み～

きっかけはコミュニティスクールにおいて地域の子どもの様子を語り合う中で、一人の保護者から「自分が子どものころは今と比べもっと宿題がなかったように思う…」という何気ない一言からでした。親と子の関わり・触れ合いを大切にしたい、家族を大切にしようという想いにより、毎月第3日曜日の結いの日を昨年から『ノー宿題+スイッチOFFデー（テレビ・ゲーム・インターネット等の各種メディア）』として、保護者と学校が協力しながら行っています。毎月、子どもや保護者が結いタイムで行ったことや感想をふり返りカードに記入します。「お父さんと遊ぶことができでうれしかった」「結いタイム以外でもお手伝いしてくれるようになった」「結いタイムを親子で楽しみ、話す機会が増えた」などの感想が子どもや保護者から寄せられています。

飯田市では家族のふれあいのひと時を「わが家の結いタイム」と名付けています。



「読書」を **プラス**

一日の中のちょっとしたスキマ時間や、テレビやスマホをちょっとお休みして読書の時間を作ってみませんか？お休みの日の暑くなる日中を「読書タイム」にしたり、家族で図書館に出かけてクールシェアに取組むのもいいですね。



防ごう!子どもの インターネットトラブルと犯罪被害!

「家庭のルールを考えましょう」

スマートフォンやゲーム機等インターネットに接続できる機器が普及し多くの子どもたちがそれらを手にするようになりました。それに伴い、生活習慣の乱れや、ネットいじめの問題、子どもたちが被害を受けるだけではなく、加害者になってしまうケースも生じています。インターネット上の危険について家庭で話し合い、ルールを作ることが大切です。なぜそのルールが必要なのかを、一緒に考えましょう。



ルールの一例

- ・使える時間は夜()時まで。
だらだら使ったり長時間使わない。
- ・ネット上に画像をアップしない。
- ・知らない人とやり取りしない。
- ・トラブルや不安なことがあれば
すぐに家族・学校に相談する。



「フィルタリングを上手に活用しましょう」

フィルタリングとは、有害サイトへのアクセスを制限するサービスです。有害情報などへのアクセスを防ぐため、フィルタリングサービスを利用しましょう。

● スマートフォン等のフィルタリング

フィルタリングは、有害なウェブサイトや利用せたくないアプリをブロックしてくれます。

● ゲーム機のペアレンタルコントロール

ゲーム機がインターネットにつながることを知っていますか?



携帯電話会社が提供するフィルタリングサービス

OS	Android	iOS (iPhone/iPad)
利用目的	Web閲覧	アプリ
機能制限方法	NTT docomo/au(KDDI)/SoftBank ロゴマーク	あんしんフィルター for(企業名・ブランド名)
端末の機能制限		

※具体的な設定方法は、各通信会社のホームページや契約代理店窓口でお確かめ下さい。

参考リンク 安心ネットづくり促進協議会 <http://www.good-net.jp/>

出典:内閣府ホームページ
https://www8.cao.go.jp/youth/kankyou/internet_use/h29/pdf/leaf-print.pdf

自宅に無線LAN (Wi-Fi) がある場合や、コンビニエンスストア等公衆無線LANが設置されている場所等では、ゲーム機もインターネットにつながります。ゲーム機には保護者による使用制限機能が付いています。



相談窓口

子どもさんの成長を見守るための相談窓口です。お気軽にお電話ください

内容	連絡先
飯田市ネットトラブル相談メール	MAIL shinpai@nistr.jp
教育相談	TEL 0265-53-8730 飯田市教育委員会内(飯田市大久保町2534番地)
子育て相談・就学相談	TEL 0265-22-4511(内5342) こども家庭応援センター(飯田市本町1-15番地りんご庁舎2階)
家庭相談	TEL 0265-22-4511(内5737) 子育て支援課家庭係(飯田市大久保町2534番地)
外国籍児童生徒の相談	TEL 0265-22-4511(内3719) 飯田市教育委員会内(飯田市大久保町2534番地)
外国語相談	TEL 0265-22-4511(内5451) 男女共同参画課(飯田市大久保町2534番地)
学校生活相談センター	なやみいおう TEL 0120-0-78310(24時間受付)
長野県子ども支援センター	TEL 0800-800-8035(子ども専用ダイヤル・無料) TEL 026-225-9330(大人用ダイヤル)